H-TEC TIMES

Honda Technical College kansai

学校法人ホンダ学園
ホンダ テクニカル カレッジ 関西
〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

発行責任者
校長 村上 洋

ホームページ・ケータイ サイト
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/
QRコード対応 ケータイで簡単アクセス!

平成19年度 祝入学

Welcome to Honda Technical College Kansai

入学式式辞

校長 村上洋

新入生の皆さん、保護者の皆様ご入学おめでとうございます。本年は新たに4年制で出発する一級自動車整備研究科を含む総数372名の若さ溢れる新入生を迎える事が出来ました。

本田宗一郎は、本当に優れた自動車整備はどうあるべきか、確固たる信念を持ちその信念と理想を実現すべくこの学校を設立しました。その建学の精神は、「人に愛され信頼される技術者の育成を通し、社会に貢献する」です。これを基に、育成方針を定め、皆さんにH-TECで学んで頂きます。

皆さんは、まずこのH-TECでどんな事をしたいのか、目標をしっかり定めて下さい。目標を持って行動する事で、学校生活も、勉強も面白くなってくるはずです。

また、失敗を恐れずにいろんな事にチャレンジして頂きたいと思っています。失敗こそが成長の糧です。私たちは「自ら学び取る」「チャレンジする」この2つをベースに、H-TECで自ら行動する事を求めています。思い切り学生生活をエンジョイし、振り返った時、達成感を味わうことが出来ればこれに勝る喜びは無いと思います。

入学生数

自動車整備科 290名
一級自動車整備研究科 60名
自動車研究開発科 22名

大阪狭山市 市長
吉田 友好様

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

これから皆さんには、学生生活を有意義に過ごして頂きたいと思います。そして学生生活の中で一生に渡ってお付き合いできるような人間関係を築いていかれる事を期待しております。この大阪狭山市市内全域がホンダ テクニカル カレッジ 関西のキャンパスとして、ご活躍いただきますことを心からお願い申し上げまして、入学に際しましてのお祝いの言葉とさせて頂きます。

本日はまことにおめでとうございます。

本田技研工業(株)
執行役員
福尾 幸一様

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

本日は、皆さんの第一歩を踏み出す記念すべき日です。

皆さんは、大きな可能性を持っています。H-TECで技術や知識を習得するだけでなく、自分の持ち味を発見し得意技を磨き、たくさんの仲間と触れ合い、多くの事を学んで頂きたいと思います。そして、皆さんの手で将来の日本の自動車産業を更に発展させて頂きたいと思います。

2008年度より「二輪クラス」を新たに設置

～四輪はもちろん 二輪の全てを学ぶ～

2008年度より、今までの「ベーシックコース」、「アドバンスコース」、「チャレンジコース」からなる「コース選択制」に、新たに「二輪クラス」が加わります。

この「二輪クラス」では、四輪はもちろんの事、Hondaの二輪からハーレー、BMWなど他車も含めた幅広い技術を学ぶ事ができます

教材車両のBMW

自動車研究開発科 代表チーム決定!

～モックアップ完成!～

2月26日、自動車研究開発科は、全日本学生フォーミュラ大会を目指し、モックアップ作成の発表会を開催しました。

この発表会は全日本学生フォーミュラ大会の規則に即したマシンの企画作りで、コンセプト、基本諸元、基本レイアウト、モックアップ製作までを行うものです。10名で1つのチームを組み、Aチーム、Bチームの2つのプロジェクトチームで発表。学生は連日連夜、ミーティングや製作に精を出しすべての準備を整え半年間の成果を携えて発表会に臨みました。

発表内容とモックアップの公平な評価が行われ、審査員の先生方から「1年生でここまで良く考え作ったことは素晴らしい。これからは実際の製作でもっと苦労するが、君達ならばきっと出来る」と総評を頂きました。これにより前日までの苦労が報われ、発表の緊張が解き放たれました。

評点の高かったAチーム(チーム名:Integration XI)が学校代表として9月開催の全日本学生フォーミュラ大会に出場します。Bチーム(チーム名:Honda 零 Project)共々マシンの製作に入りますので、皆さんのご協力とご声援をお願いします。

「Integration XI」チームによるモックアップの説明

「Honda 零 Project」チームのプレゼン発表

技術セミナー

～アクセサリパーツの取付～

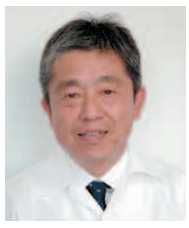
今回の技術セミナーでは、(株)ホンダアクセスの方が講師として来校し、バイザーの取り付け方を教えて頂きました。始めは工数が1・0Hのものを、1枚に1時間ほどかかっていましたが、一度手順を理解すれば作業スピードは上がりました。

バイザーの装着は、将来多くこなさなければならない作業の一つなので、今回のセミナーを活かして、早くきれいな作業ができるようになれればと思います。

(一級自動車整備研究科 4年1組 藤本 雅裕)

バイザーを取り替える藤本君くん(写真左)

就任のあいさつ



校長
村上 洋

4月1日付で、校長に就任しました村上です。

本田技研に入社以来、研究所でモーターサイクルの開発・企画一筋で勤めてきました。教育とは全く無縁の世界からH-TECに来たため少し戸惑いましたが、本田宗一郎を始めとする諸先輩が築き上げた本校の伝統・歴史を考えますと、心が引き締まる思いです。

H-TECには素晴らしい「建学の原点」「建学の精神」があり、このコアであるマナー・マインドを磨く事、実践的な技術力を確実に身につける事により、他校と一線を画した「ホンダ テクニカル カレッジ 関西」ブランド構築に繋がると考えます。

学生・教職員の皆さんが「ここで学んで良かった!」「ここで働けて良かった!」と思え、永続性のある学校にするため精一杯頑張りたいと思いますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

新1年生対象 校外オリエンテーション

～目標を発見しよう!～

今年度、新しい試みとして校外オリエンテーションを4月10、11日の2日間にわたり実施しました。

入学間もない学生間、学生と教員間のコミュニケーションの向上を図るため、共同作業による海洋実習、夕食(バーベキュー)を実施しました。

また、これからの学生生活、社会人として役立つ挨拶、言葉使い、整列訓練等も行いました。いずれも学生達は、イキイキと取り組んでいました。

当日は天候にも恵まれ、事故もなく充実した2日間を送る事が出来、学生にとっても良い経験が出来たと思います。オリエンテーションで立てた卒業までの自己の目標に向かって頑張って欲しいと思います。

皆で協力して漕ぐカッター(ボート)

一級自動車整備研究科の目標設定

～自分の将来について深く考えました～

自動車整備科
1年3組
長尾 健志

大阪府立青少年海洋センターで、2日間にわたり行われた校外オリエンテーションに参加しました。

初日は、カッターとバーベキューをしました。カッターは、クラスの皆が声を出し、協力して漕ぐ事ができ、協力する事の大切さを知る事ができました。

バーベキューでは、皆で火をおこし楽しく食事をする事ができ、良い思い出になりました。

2日目は、挨拶訓練と目標設定をしました。挨拶はとても大事な事なので、習った挨拶の仕方を忘れずに行いたいと思います。

目標設定では、自分の将来についてよく考える事ができ、H-TECでどうすごしていくか思い直すことができました。

挨拶の訓練

新任のあいさつ

教務部
松葉 伸彦

4月よりホンダ学園関東校から参りました。サービスの現場を経験した後、関東校で12年間教育の仕事をしてきました。関東校と関西校で場所は違いますが、夢を持って社会に旅立つ皆さんに対し、少しでも役に立つことができればと思います。「環境を楽しむ」をモットーに、何事も楽しみながら、頑張っていきたいと思います。

教務部
郡司 慶一郎

4月1日付で、ホンダ学園関東校より参りました。関東校では自動車整備科とシステム工学科を担当し、本校では自動車整備科の担当をします。H-TECに来る以前は、ホンダエンジニアリングで生産技術の開発等を経験してきました。

皆さんが技術を習得する手助けが出来るよう、一緒に頑張っていきたいと思います。

教務部
荒木 順平

こんにちは、3月より教務部に参りました。以前はホンダモーターサイクルジャパン(HMJ)のサービス部門に在籍していました。

二輪単元の担当という事で、オートバイの楽しさや、教科書には載っていない、実際に現場で得た活きた技術を少しでも学生の皆様にフィードバックしたいと思います。

教務部
安田 奈保子

2月より教務部に参りました。H-TECを卒業後、11年間サービスマンとして現場で仕事をしてきました。

社会人として、Hondaマンとしてどうあるべきか、現場での作業を通して自分なりに感じた事を皆さんに伝えていきたいと思います。

国家試験結果速報

～二級 100%合格～

3月25日に実施された、国家整備士登録試験の結果が発表されました。

受験結果は、国家二級自動車整備士登録試験が100%、国家一級小型自動車整備士 登録筆記試験が93.3%という結果になりました。

合格された皆さん、本当におめでとうございます!